



平成 28 年度
港区運営方針
(案)

こども青少年部会抜粋版

平成 28 年 3 月
大阪市港区役所

めざす成果及び戦略 4-1 【「子どもの学び」を応援】

| | | | | |
|------|----------------------|---|----------------|---|
| 計画 | めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> | 子どもの学ぶ力、生きる力を育む環境づくりが進んでいる。学校、家庭、地域の連携により、家庭学習が習慣になっているこどもの割合を増やす。 | 戦略<中期的な取組の方向性> | <ul style="list-style-type: none"> 学校・教育コミュニティのモニタリングと必要なサポートを行い、分権型教育行政を推進する。 学校園や地域等と連携し、区の特性や強みを活かして「児童・生徒の学力・体力の向上」を目指した家庭教育支援と特色ある学校づくりの支援に取組む。 児童・生徒の教育環境の向上を図るため、小学校の規模の適正化を図る外、学校園と協働し、教育相談等を通じて福祉的課題等をかかえる児童・生徒とその家庭への支援を行う。また、学校でのボランティア活動を支援するとともに、その人材確保に取組む。さらに、地域と連携し、子どもの見守りや健全育成などに取組む。 小学校の適正配置について具体的な検討を進める。 |
| | アウトカム<めざす状態を数値化した指標> | <p>※重点目標</p> <p>○区内の小・中学校の適正配置対象校の適正化に向けた取組みの状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校適正配置計画において統合などの手法で適正化を図る対象校の全校において、関係校を含め30年度末までに地元等の説明会を完了する。 <p>○区内の小・中学校における全国学力・学習状況調査の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校 結果を公表する学校(27年度9校)において、理科を除く4科目のいずれかの科目で平均正答率が大阪市平均を上回る学校数 27年度:3校 → 30年度:公表校数の6割以上(6校) 中学校 理科を除く4科目のいずれかの科目で平均正答率が大阪市平均を上回る学校数 27年度:2校 → 30年度:8割以上(4校) | | |
| 自己評価 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す | 課題 | ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | アウトカムの達成状況 | 前年度 個別 全体 | 今後の対応方向 | ※有効性が「イ」の場合は必須 |
| | 戦略の進捗状況 | a:順調 b:順調でない | | |

具体的取組4-1-1 【分権型教育行政の推進、教育課題解決への取り組み】

| | | | | | | | |
|--------|---|---|--------------------------------|-------|------|-------|------|
| | | 26決算額 | 1円 | 27予算額 | 97千円 | 28予算額 | 76千円 |
| 計画 | 取組内容 | 分権型教育行政を推進し、保護者や地域住民の学校教育への参加を促進しその意向を学校運営に反映して、より良い学校教育を推進するとともに、保護者・地域住民、校長等の多様な意見・ニーズをくみ取り、学校だけでは解決できない横断的な課題への対応について学校を支援する。 | 業績目標(中間アウトカム) | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 分権型教育行政の推進 <ul style="list-style-type: none"> 教育会議(区政会議・こども青少年部会)の開催:3回以上 区教育行政連絡会の開催:小学校、中学校各3回以上 区内17校園の学校協議会への教育委員会兼務職員の出席:各2回以上 学校協議会委員への研修会の開催:1回以上 区小学校長会・教頭会への出席・連絡調整:各11回以上 | 保護者・地域住民、校長等の多様な意見・ニーズをくみ取った新規の取組件数:2件 【撤退基準】 保護者・地域住民、校長等の多様な意見・ニーズをくみ取った取組みができなかった場合は事業を再構築する。 前年度までの実績 平成26年度実績 ・区内17校園の学校協議会への区職員の出席:各3回 ・区小学校長会・教頭会への出席・連絡調整:各11回 ・区小学校連絡会の開催:1回 ・区中学校長会の開催:3回(うち1回は教育行政連絡会として開催) ・港区幼稚園連絡会の開催:1回 学校園との連携強化に係る新規取組の実施件数:8件 平成27年度実績(見込み) ・区内17校園の学校協議会への区職員の出席:16校×3回(11月、3月は幼稚園を含めて17校園に出席予定) ・区小学校長会・教頭会への出席・連絡調整:各11回 ・区教育行政連絡会の開催:小学校、中学校各3回 学校園との連携強化に係る新規取組の実施件数:2件以上 | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | ①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成 | 課題と改善策 ※左記に「②」、「③」、「×」がある場合は必須 | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | | 課題 ※左記に「②」、「③」、「×」がある場合は必須 | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | | 改善策 ※左記に「②」、「③」、「×」がある場合は必須 | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

具体的取組4-1-2 【家庭学習促進】

26決算額 1,519千円 27予算額 73千円 28予算額 175千円

| | | |
|----|---|--|
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） |
| | <p>家庭学習の促進を図るため、平成26年度に「港区版 家庭学習の手引き」を、平成27年度にその概要版パンフレットを作成。 平成28年度の新学期に新小学1年生を始め、小学校の全保護者に対し、これを配布し、学校・地域等と連携して活用を図る。 また、放課後ステップアップ事業、学校元気アップ事業、大阪市塾代助成事業など、学校外での学習の場への参加を促す取組を行う。</p> <p>・家庭学習の手引き 印刷 ・区ホームページなどを活用した学校外での学習機会への誘導</p> | <p>全国学力・学習状況調査における家庭学習の状況において、「30分より少ない」と「全くしない」の合計が、大阪市平均を下回る学校が5割以上（小学校6校、中学校3校） 【撤退基準】 上記目標を達成できなかった学校数が半数以下（6校）の場合は事業を再構築する。</p> <p>前年度までの実績</p> <p>平成26年度実績 家庭学習の手引きの作成・配布 教育フォーラムの開催（3月15日） みなりんどリルの作成・配布</p> <p>平成27年度実績（予定） 家庭学習の手引き（概要版）の作成</p> |

| | | |
|--------|--|------------------------------|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | <p>①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)</p> | |

| | | |
|------|--|----------------------------------|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | <p>業績目標の達成状況</p> <p>①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)</p> | <p>改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p> |

具体的取組4-1-3 【地域の強みを活かした教育力向上】

26決算額 44千円 27予算額 159千円 28予算額 730千円

| | | |
|----|---|---|
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） |
| | <p>区内の教育資源（大阪プール、海遊館など）の活用など、地域の強みを活かした手法で、特色ある学校教育の充実や社会教育の機会の提供を行う。</p> <p>・スケート教室を学校との協働で実施 ・海遊館生物教室を学校との協働で実施 ・絵本による読書活動促進スタートアップ事業の実施 ・絵本ひろば連絡会の開催 ・こどもサイエンスカフェの実施 4回 ・プロの高度なプレーに接することで、その醍醐味を体感できるよう、プロスポーツを身近に触れられる機会を提供</p> | <p>各取組メニューの提供先となる対象（学校や参加者など）へのアンケートにおける肯定的意見：7割以上 【撤退基準】 上記目標が6割未満の場合は事業を再構築する。</p> <p>前年度までの実績</p> <p>平成26年度実績 ・担い手・図書館・区役所等による絵本ひろば連絡会の開催：2回 ・面展台づくり講習会の開催：1回 ・地域が主体的に実施する絵本ひろばの回数：3回 ・こどもサイエンスカフェの実施：6回（環境局との共催）</p> <p>平成27年度実績（12月末） ・地域が主体的に実施する絵本ひろば：3回 ・絵本ひろば連絡会の開催（10月） ・こどもサイエンスカフェの実施：8回（うち環境局との共催5回）</p> |

| | | |
|--------|--|------------------------------|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | <p>①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)</p> | |

| | | |
|------|--|----------------------------------|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | <p>業績目標の達成状況</p> <p>①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)</p> | <p>改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p> |

具体的取組4-1-4

【多文化共生教育スタートアップ事業】

26決算額 6,696千円 27予算額 6,444千円 28予算額 3,588千円

| | | |
|----|--|---|
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） |
| | 区役所、区保健福祉センター、学校、地域のNPO等が多文化共生教育を軸に連携して、外国籍住民のエンパワメント及び日本国籍住民の多文化共生の意識を醸成し、多様な人々がその能力を発揮できる多文化共生のまちづくりを推進するため、以下の有機的に連携した取組みを実施することによって、教育を軸に多文化共生を推進するシステムを構築するためのスタートアップ事業を行う。 ・帰国・来日等のこどもへの学習サポート等派遣 学校の要請に応じ、通訳派遣を行う。 ・こども多文化カフェ 留学生や区内の外国籍住民と小中学生が、日本語以外の言語でカフェ感覚で気軽に交流し、多文化共生の意識を醸成する「こども多文化カフェ」を、区内2カ所で24回程度を実施 | 学習サポート等派遣を実施した学校から「有効」との回答する割合：70%以上 こども多文化カフェへの参加児童等のアンケートで「多文化共生に関心をもった」と回答する割合：60%以上 【撤退基準】 上記基準が達成できなかった場合、もしくは、相互の連関する取組みによって次年度以降の事業を担うボランティアスタッフを育成することができなかった場合は、事業を再構築する。 |
| | 前年度までの実績 | 平成26年度実績 ・英語交流事業の実施。 ・小学生対象参加者：32名 ・中学生対象参加者：13名 (定員の15名の応募があったが、内2名は辞退した) |

| | | |
|--------|--|--|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) |

| | | |
|------|--|---|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) |

具体的取組4-1-5

【学校園における福祉的課題をかかえる児童生徒への支援】

26決算額 3,787千円 27予算額 3,166千円 28予算額 -円

| | | |
|----|---|--|
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） |
| | 社会福祉等の専門的な知識や技術に加えて教育分野に関する知識を有するスクールソーシャルワーカーを区内市立幼稚園及び小・中学校へ巡回・派遣するとともに区専属の臨床心理士を配置し、教育相談を行う。また、福祉的課題をかかえた児童生徒及びその家庭に対し、関係機関等のネットワークを通じた福祉施策の的確な活用など、多様な支援方法を用いて課題解決に向けた対応を行う。 ○スクールソーシャルワーカー ・1人配置(1日6時間、176日従事) ・区内17校園を巡回するとともに、学校園からの要請に基づき派遣。 ・教職員等を対象とした研修の実施 ○臨床心理士 ・1人配置(1日6時間、35日従事) ・区内小学校11校からの要請に基づき派遣 | 本事業が「有効」と回答した学校園の割合を80%以上にする。 【撤退基準】 本事業が「有効」と回答した学校園の割合を50%以下となった場合は事業を再構築する。 |
| | 前年度までの実績 | 平成26年度実績 ・巡回・派遣日数：計162日、相談ケース：62件、うち好転件数54件 ・教職員を対象とした研修会の実施：3回 平成27年度実績(9月末) ・巡回・派遣日数：計81日、相談ケース：63件、うち好転件数59件 ・教職員を対象とした研修会 10月以降予定 |

| | | |
|--------|--|--|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) |

| | | |
|------|--|---|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) |

具体的取組4-1-6

【発達障がいサポート】

26決算額 3,344千円 27予算額 3,711千円 28予算額 3,885千円

| | | |
|----|---|---|
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） |
| | 区内市立小・中学校及び幼稚園に在籍する発達障がい等のある児童生徒のうち、行動面で特に支援が必要とされるADHD等の重度な児童生徒に対し、遠足や社会見学等の校外学習や放課後の課外活動である部活動等をサポートするため、地域の人材を活用した発達障がいサポーターを配置する。 ・発達障がいサポーターの配置時間：3,546時間 | 本事業が「有効」と回答した発達障がいサポーター配置校園の割合：80%以上 【撤退基準】 上記目標が60%以下の場合は事業を再構築する。 |
| | | 前年度までの実績 平成26年度実績 配置時間：3,377.5時間 平成27年度9月末実績 配置時間：1,518.5時間 |

| | | |
|--------|--|--|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) |

| | | |
|------|--|---|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) |

具体的取組4-1-7

【日本語サポート等】

26決算額 359千円 27予算額 310千円 28予算額 577千円

| | | |
|----|--|---|
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） |
| | 区内市立小・中学校に在籍する日本語指導が必要な児童・生徒に対して、学習をサポートするため、地域の人材を活用したサポーターを配置する。 絵本ひろばのコーディネーターやファシリテーターとともにボランティアを学校に派遣し、学校での絵本ひろばの開催を促進する。 ・日本語教育サポーターの配置対象者数：8人以上 ・学校における絵本ひろばの開催：3校以上 | 日本語サポーターなどのボランティアサポーターへの配置・派遣が「有効」と回答したサポーター実施校の割合：70%以上 【撤退基準】 上記目標が50%以下の場合は事業を再構築する。 |
| | | 前年度までの実績 平成26年度実績 絵本ひろばの回数 49回 |

| | | |
|--------|--|--|
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) |

| | | |
|------|--|---|
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 |
| | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) |

具体的取組4-1-8

【別室登校等サポーター派遣】

| | | | | | | | |
|--------|--|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 26決算額 | 426千円 | 27予算額 | 822千円 | 28予算額 | 670千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） | | | | | |
| | 港区における中1ギャップ問題の解決に向け、家庭学習の促進を行うとともに別室登校等サポーターによる不登校児童生徒等への対応策を実施する。 ・不登校児童生徒等への別室登校等サポーターの配置：640h | 別室登校等サポート事業が「有効」と回答したサポーター配置校の割合：80%以上 【撤退基準】 上記目標が60%以下の場合は事業を再構築する。 | | | | | |
| | | 前年度までの実績 平成26年度実績 配置日数：188時間 平成27年度9月末実績 配置日数：218時間 | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

具体的取組4-1-9

【港区サードプレイス(こどもの居場所づくり)】

| | | | | | | | |
|--------|---|--|----|-------|-------|-------|-------|
| | | 26決算額 | —円 | 27予算額 | 481千円 | 28予算額 | 399千円 |
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） | | | | | |
| | 子どもに家庭でも学校でもない、地域のボランティアが運営する第3の居場所(サードプレイス)を提供することによって、自由に話したり学習したりできる環境や、地域の人々とのつながりの中で、生きる力・学ぶ力を育む。 ・居場所の開設：年間を通して月1～2回 | 複数回の参加者の割合：50%以上 【撤退基準】 上記目標が30%未満の場合は事業を再構築する。 | | | | | |
| | | 前年度までの実績 平成26年度実績 ・大阪大学との協働プロジェクトとして、こどもの居場所づくりをめざすボランティア研修会を実施(5回)し、研修会修了生(希望者)を対象に、こどもの居場所の開設にむけた準備会を開催。(6回) 平成27年度実績 ・4月以降 毎月1回開催 | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 | | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

具体的取組4-1-10

【小学校の学校配置の適正化】

| | | 26決算額 | — 円 | 27予算額 | — 円 | 28予算額 | — 円 |
|--------|---|---|-----|-------|-----|-------|-----|
| 計画 | 取組内容 | 業績目標（中間アウトカム） | | | | | |
| | 学校と連携した、児童のより良い教育環境の確保を行う。 ・小学校の適正配置について、学校・教育委員会と調整 | ・具体的かつ現実的な学校適正配置計画案の作成 【撤退基準】 具体的かつ現実的な計画案が作成できない場合は、計画案を再検討する。 前年度までの実績 平成27年度(12月末) ・配置計画案の作成・検討を実施中 | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | ①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成 | | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | | | | | | |
| | ①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | ○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定) | | | | | |

具体的取組4-1-1 【青少年の健全育成の推進】

| | | 26決算額 | 467千円 | 27予算額 | 403千円 | 28予算額 | 403千円 |
|--------|--|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 計画 | 取組内容 | <p>青少年の健全育成や非行防止を図るため、青少年指導員による街頭指導、夜間巡視、青少年福祉委員による社会環境浄化活動等に加えて、各中学校区の「青少年育成推進会議」における研修会の開催などを支援し、学校・家庭・地域が協働・連携して取組む活動を推進する。</p> <p>・「青少年育成推進会議」における夜間巡視等の取り組み：各中学校下で5回 ・「青少年育成推進会議」における意見交換会・研修会：1回 ・「こども110番の家」事業の協力家庭・事業所の新規登録の促進。</p> | | | | | |
| | 業績目標（中間アウトカム） | <p>青少年育成推進会議及び青少年指導員活動に参加した人数：3,000人【撤退基準】 青少年育成推進会議及び青少年指導員活動に参加した人数：2,500人を下回れば事業を再構築する。</p> | | | | | |
| 中間振り返り | 業績目標の達成状況 | <p>①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成</p> | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | <p>○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)</p> | | | | | |
| | | 課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| 自己評価 | 取組実績 | 課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | 業績目標の達成状況 | 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 | | | | | |
| | ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 | | | | | | |
| | 戦略に対する取組の有効性 | <p>○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)</p> | | | | | |